

平成23年度予算概要

平成23年度予算が市議会3月定例会で可決成立しましたので、その概要をお知らせします。

問合せ 財政課 ☎551・1534

平成23年度の一般会計予算は216億4,400万円で、前年度に比べて1.4%の増加となりました。大規模事業（牛浜駅自由通路整備事業・福生病院組合建設費負担金・子ども手当支給事業費）を除いた比較では、0.9%の減額となっています。特別会計予算は118億4,453万7千円で、前年度に比べて2.9%の増加となり、一般会計と特別会計を合計した当初予算額は334億8,853万7千円で、前年度に比べて2.0%の増加となりました。

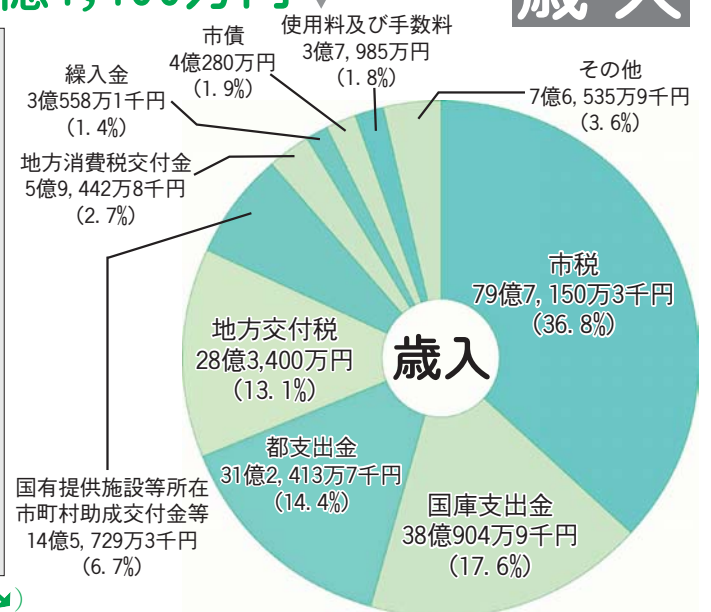
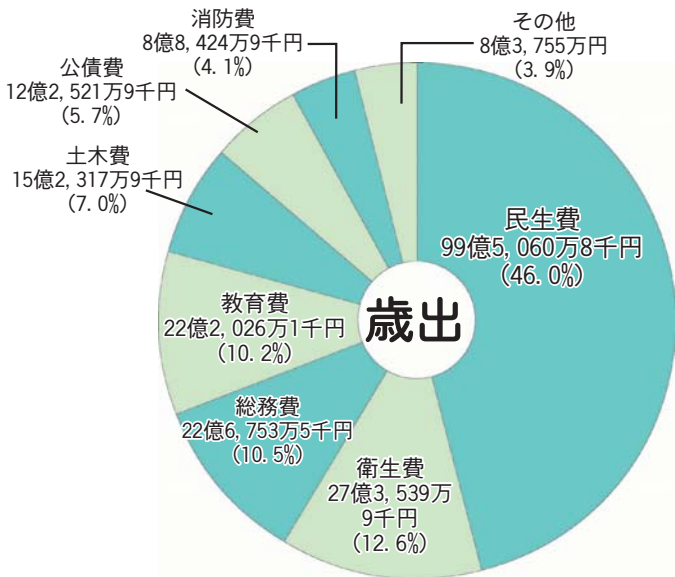
歳出

一般会計予算の構成 総額216億4,400万円

歳入

一般会計の内容

前年度と比較すると、歳入では主に市税や繰入金、市債が減少する一方で、国庫支出金、都支出金、地方交付税のうち普通交付税は増加しています。歳出では主に福生野球場整備事業の終了による教育費や、住民情報システム更新事業の終了による総務費が減少する一方、子ども手当支給事業等による民生費や、牛浜駅自由通路整備事業等による土木費が増加しています。



■議会費 25.6%増(▲)

議員報酬や議会運営経費などで、今年度は議員年金廃止に伴う議員共済会負担金の増加などにより、7,174万8千円の増額となっています。

■総務費 7.3%減(▼)

主に行政運営に必要な経費ですが、前年度の住民情報システム更新事業費や国勢調査費の皆減などにより、1億7,894万3千円の減額となっています。

■民生費 4.2%増(▲)

障害者・高齢者・児童福祉等のための経費で、子ども手当支給事業費や生活保護費、国民健康保険特別会計事業費などの増加により、4億161万7千円の増額となっています。

■衛生費 1.6%増(▲)

保健衛生や環境対策、ごみ処理等のための経費で、予防接種費や次世代モビリティ活用モデル事業などの増加により、4,408万7千円の増額となっています。

■商工費 16.8%増(▲)

商工業の振興のための経費で、主に地域ブランド発信モデル事業委託料などの観光対策費の増加により、2,678万8千円の増額となっています。

■土木費 20.3%増(▲)

道路建設や公園整備等、まちづくりのための経費で、主に牛浜駅自由通路整備事業費や第三市営住宅エレベーター設置事業費などの増加により、2億5,742万3千円の増額となっています。

■消防費 4.7%増(▲)

消防事業の東京都への委託や災害対策のための経費で、3,974万6千円の増額となっています。主に東京都への消防委託金の増額などによるものです。

■教育費 16.1%減(▼)

教育の充実や文化・スポーツの振興のための経費で、4億2,629万8千円の減額となっています。主に前年度までの福生野球場整備事業費の皆減などによるものです。

■市税 1.3%減(▼)

前年度に比べ1億261万7千円の減額です。市民税、固定資産税が減少し、特に個人市民税は前年度より9,213万3千円、2.6%の減となりました。

■利子割交付金 19.4%増(▲)

公社債利子の増などに伴い、812万8千円の増額となっています。

■地方消費税交付金 0.6%増(▲)

景気が穏やかに回復に向かうとの見込みから、348万3千円の増額としています。

■自動車取得税交付金 42.4%増(▲)

前年度の自動車販売台数の見込みなどにより、1,939万3千円の増額となっています。

■地方交付税 13.1%増(▲)

すべての自治体が一定水準の行政サービスを行なえるよう国が交付するもので、国の予算の増額と前年度交付見込額の増加に伴い、3億2,900万円の増額となっています。

■国庫支出金 11.2%増(▲)

子ども手当負担金、地域住宅交付金、生活保護費負担金などにより、3億8,438万9千円の増額となりました。

■都支出金 4.3%増(▲)

緊急雇用創出事業臨時特例補助金や地球温暖化対策等推進区市町村補助金などの増加により、1億2,940万5千円の増額となりました。

■繰入金 44.3%減(▼)

基金の取崩しや特別会計からの収入で、主に都市施設整備基金や学校施設等整備基金からの取崩しの減少により、2億4,332万1千円の減額となりました。また、一般財源が不足する場合に繰り入れする財政調整基金については、前年度に引き続き、取崩しておりません。

■市債 26.5%減(▼)

第三市営住宅エレベーター設置事業債は増額となっていますが、財源不足を補うための臨時財政対策債を減額したことにより、1億4,520万円の減額となりました。

主な一部事務組合への負担金

複数の自治体で共通する事務を共同処理するために一部事務組合を設立しています。

今年度の負担金の予算額は下表のとおりです。

■主な一部事務組合への負担金

区分	当初予算額
瑞穂斎場組合	5,322万6千円
福生病院組合	7億9,801万8千円
西多摩衛生組合	5億4,846万2千円
東京たま広域資源循環組合	1億4,687万3千円
合計	15億4,657万9千円

歳出(性質別)

■扶助費 30.9%

生活保護、老人福祉、児童福祉などに支出される福祉的な経費です。

■人件費 18.8%

市長や市議会議員、市職員等に支払われる報酬、給料などの経費です。

■物件費 15.5%

消耗品や公共施設の光熱水費など市の事務を行なうために必要な経費や、委託料や使用料及び賃借料などです。

■補助費等 11.9%

一部事務組合や各種団体などに支出される負担金や補助

金などの経費です。

■繰出金 9.1%

会計間で他の会計へ支出する経費です。一般会計から国民健康保険事業などの特別会計へ繰り出しを行なっています。

■普通建設事業費 6.7%

道路、橋りょう、学校などの施設の新増設のための建設事業のための経費です。

■公債費 5.7%

市債の元金・利子を償還するための経費です。

■その他 1.4%

他に維持補修費、積立金、出資金・貸付金などの性質に分けられます。

